

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成24年10月12日

**【四半期会計期間】** 第32期第2四半期(自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日)

**【会社名】** 株式会社スリーエフ

**【英訳名】** Three F Co.,Ltd.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 中 居 勝 利

**【本店の所在の場所】** 神奈川県横浜市中区日本大通17番地

**【電話番号】** 045(651)2111(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役業務室長兼総務室長 海老沢 克 恭

**【最寄りの連絡場所】** 神奈川県横浜市中区日本大通17番地

**【電話番号】** 045(651)2111(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役業務室長兼総務室長 海老沢 克 恭

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第31期 第2四半期 連結累計期間	第32期 第2四半期 連結累計期間	第31期
会計期間		自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日	自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日	自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日
営業総収入	(百万円)	14,329	12,976	26,908
経常利益	(百万円)	906	402	840
四半期純利益又は 四半期(当期)純損失( )	(百万円)	51	38	201
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	49	40	192
純資産額	(百万円)	5,984	5,781	5,795
総資産額	(百万円)	18,741	17,682	17,202
1株当たり四半期純利益金額又は 四半期(当期)純損失金額( )	(円)	6.81	5.14	26.61
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	31.1	31.8	32.8
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	3,126	1,092	2,127
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	273	498	583
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	554	182	703
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(百万円)	3,059	2,013	1,601

回次		第31期 第2四半期 連結会計期間	第32期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日	自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	38.86	15.00

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 営業総収入には、消費税等は含まれておりません。

3. 第31期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、第31期第2四半期連結累計期間及び第31期は1株当たり四半期(当期)純損失であり、また潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、第32期第2四半期連結累計期間は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。なお、当社グループは、コンビニエンスストア事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしていません。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州の債務危機問題を背景とした円高の長期化や、電力供給に関する問題などの懸念材料により、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループは来店客数の向上を最大の課題ととらえ、気持ちよくお買い物していただけるお店作りを目指し、クリーンネス・フレンドリーサービス・身だしなみ等の商売の基本を徹底しつつ、買い置きの出来るレトルトパックのPB惣菜「おうちスタイル」を新たに展開するなど、肉食ニーズに応える売り場作りを通じて、有職主婦やシニア層といった客層の拡大を図ってまいりました。しかしながら、夏場前半の気温が低めに推移したことなどにより、ソフトドリンク等の販売が低迷するなど、既存店売上高の伸び悩みにつながりました。

店舗開発につきましては、継続して独立研修社員の育成を強化すると共に、新規出店および不採算店舗の閉店を通じて個店収益力の向上を図ってまいりました。これにより開店12店、閉店22店となり、総店舗数629店（エリア・フランチャイズ契約に基づく四国地区は74店、スリーエフ店合計703店）となっております。

店舗運営につきましては、店舗スタッフの教育プログラムである「スターブループログラム」を活用した店内体制の構築やオーナーマネジメントセミナーによる質の高い店作りを図ったほか、店舗指導員のレベル向上による個店指導力の強化を目指してまいりました。

商品面につきましては、従来より展開している焼き鳥やパスタ、惣菜、デザートといったオリジナル商品の開発強化を図り、肉食対応の惣菜および生鮮食品の販売強化の取組みに加え、ドリップ式の淹れたてコーヒーである「g o o z c o f f e e」のユニット展開を強化するとともに、新たに提供品質の向上を図った「g - S E L E C T C O F F E E」を開発し、導入店舗の拡大を図りました。また、各種販促施策などにも積極的に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の営業総収入は前年同期比9.4%減の129億76百万円となり、営業利益は前年同期比58.2%減の3億69百万円、経常利益は前年同期比55.6%減の4億2百万円となりました。また、店舗の閉鎖に係わる損失等を含め特別損失2億99百万円を計上したことにより、四半期純利益は前年同期比90百万円増の38百万円となりました。

## (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、前連結会計年度末と比較して総資産は4億79百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金、リース資産の増加、加盟店貸勘定の減少等によるものであります。

負債につきましては、4億94百万円の増加となりました。これは主に買掛金、リース債務の増加、預り金の減少等によるものであります。

純資産につきましては、14百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金の減少によるものであります。

## (3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末と比べ4億12百万円増加し、20億13百万円となりました。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、加盟店貸勘定の減少及び仕入債務の増加等の要因により、10億92百万円の収入（前年同四半期連結累計期間は31億26百万円の収入）となりました。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、主として有形固定資産の取得及び敷金・保証金の差入による支出等により、4億98百万円の支出（前年同四半期連結累計期間は2億73百万円の支出）となりました。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、リース債務の返済による支出等により、1億82百万円の支出（前年同四半期連結累計期間は5億54百万円の支出）となりました。

## (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (5) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成24年10月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	7,707,095	7,707,095	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は100株であります。
計	7,707,095	7,707,095		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成24年6月1日～ 平成24年8月31日		7,707,095		1,396		1,645

(6) 【大株主の状況】

平成24年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(株)JMK瑞穂	東京都世田谷区玉川田園調布2-2-14	2,702	35.06
菊池 淳司	東京都世田谷区	384	4.99
中居 京子	東京都世田谷区	317	4.11
宇佐見 瑞枝	東京都大田区	264	3.42
(株)スリーエフ	横浜市中区日本大通17	132	1.71
スリーエフ従業員持株会	横浜市中区日本大通17	127	1.64
(株)みずほ銀行 (常任代理人 資産管理サービス信託銀行(株))	東京都千代田区内幸町1-1-5 (東京都中央区晴海1-8-12晴海アイランド トリトンスクエアオフィスタワーZ棟)	108	1.41
菊池 瑞穂	東京都世田谷区	101	1.31
中居 勝利	東京都世田谷区	100	1.30
(株)三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2-7-1	89	1.16
計	-	4,327	56.15

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 132,100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,568,800	75,688	
単元未満株式	普通株式 6,195		
発行済株式総数	7,707,095		
総株主の議決権		75,688	

【自己株式等】

平成24年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社スリーエフ	横浜市中区日本大通17	132,100		132,100	1.71
計		132,100		132,100	1.71

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成24年6月1日から平成24年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年3月1日から平成24年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,903	2,316
加盟店貸勘定	1,017	923
商品	336	316
貯蔵品	6	6
未収入金	806	889
その他	796	782
貸倒引当金	11	3
流動資産合計	4,856	5,231
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	2,293	2,207
リース資産（純額）	905	1,129
その他（純額）	878	878
有形固定資産合計	4,077	4,216
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	756	666
その他	68	64
無形固定資産合計	824	730
<b>投資その他の資産</b>		
敷金及び保証金	6,948	7,003
その他	518	526
貸倒引当金	23	25
投資その他の資産合計	7,444	7,504
<b>固定資産合計</b>	12,346	12,451
<b>資産合計</b>	17,202	17,682



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,597	5,083
加盟店借勘定	32	70
リース債務	233	296
未払金	979	1,129
未払法人税等	263	120
預り金	2,478	2,266
賞与引当金	293	242
その他	47	37
流動負債合計	8,926	9,246
固定負債		
リース債務	740	919
役員退職慰労引当金	23	23
資産除去債務	933	921
その他	783	790
固定負債合計	2,481	2,654
負債合計	11,407	11,901
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,396	1,396
資本剰余金	1,645	1,645
利益剰余金	2,680	2,666
自己株式	86	86
株主資本合計	5,636	5,621
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10	7
その他の包括利益累計額合計	10	7
少数株主持分	149	151
純資産合計	5,795	5,781
負債純資産合計	17,202	17,682

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
営業収入		
加盟店からの収入	6,261	5,761
その他の営業収入	1,954	1,877
営業収入合計	8,216	7,639
売上高		
売上高合計	6,113	5,337
営業総収入合計	14,329	12,976
売上原価	4,520	3,919
営業総利益	9,809	9,057
販売費及び一般管理費	1 8,926	1 8,687
営業利益	883	369
営業外収益		
受取利息	42	41
その他	5	5
営業外収益合計	47	47
営業外費用		
支払利息	11	12
寄付金	11	-
その他	2	2
営業外費用合計	24	14
経常利益	906	402
特別利益		
貸倒引当金戻入額	9	-
特別利益合計	9	-
特別損失		
減損損失	193	113
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	688	-
店舗閉鎖損失	75	179
その他	7	6
特別損失合計	964	299
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	49	102
法人税、住民税及び事業税	386	97
法人税等調整額	384	36
法人税等合計	2	60
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	51	42
少数株主利益	0	3
四半期純利益又は四半期純損失( )	51	38

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	51	42
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	2	2
その他の包括利益合計	2	2
四半期包括利益	49	40
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	49	36
少数株主に係る四半期包括利益	0	3

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	49	102
減価償却費	509	546
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	688	-
減損損失	193	113
のれん償却額	3	3
店舗閉鎖損失	75	179
貸倒引当金の増減額( は減少)	9	5
受取利息及び受取配当金	42	42
支払利息	11	12
加盟店貸勘定の増減額( は増加)	166	94
未収入金の増減額( は増加)	78	82
たな卸資産の増減額( は増加)	10	19
前払費用の増減額( は増加)	25	23
その他の流動資産の増減額( は増加)	243	15
仕入債務の増減額( は減少)	881	485
未払金の増減額( は減少)	141	39
預り金の増減額( は減少)	389	200
未払消費税等の増減額( は減少)	9	13
その他の流動負債の増減額( は減少)	84	22
その他	8	7
小計	3,242	1,276
利息及び配当金の受取額	42	42
利息の支払額	11	12
法人税等の支払額	147	213
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,126	1,092
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	166	238
敷金及び保証金の差入による支出	173	255
敷金及び保証金の回収による収入	202	198
無形固定資産の取得による支出	66	145
その他	69	57
投資活動によるキャッシュ・フロー	273	498
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額( は減少)	199	-
長期借入金の返済による支出	210	-
リース債務の返済による支出	89	127
配当金の支払額	53	53
少数株主への配当金の支払額	1	1
その他	-	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	554	182
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	2,298	412
現金及び現金同等物の期首残高	760	1,601
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 3,059	1 2,013

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

- 1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)
従業員給料及び賞与	1,091百万円	1,067百万円
賞与引当金繰入額	354 "	242 "
運送費及び保管費	1,583 "	1,494 "
賃借料	2,336 "	2,395 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)
現金及び預金	3,361百万円	2,316百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	302 "	302 "
現金及び現金同等物	3,059百万円	2,013百万円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年4月21日 取締役会	普通株式	53	7.00	平成23年2月28日	平成23年5月11日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年10月13日 取締役会	普通株式	45	6.00	平成23年8月31日	平成23年11月1日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年4月19日 取締役会	普通株式	53	7.00	平成24年2月29日	平成24年5月10日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年10月11日 取締役会	普通株式	22	3.00	平成24年8月31日	平成24年11月1日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年8月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

当社グループは、コンビニエンスストア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )	6円81銭	5円14銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失( ) (百万円)	51	38
普通株主に帰属しない金額 (百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は 四半期純損失金額( ) (百万円)	51	38
普通株式の期中平均株式数 (千株)	7,575	7,574

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、前第2四半期連結累計期間は1株当たり四半期純損失であり、また潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、当第2四半期連結累計期間は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

平成24年10月11日開催の取締役会において、平成24年8月31日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	22百万円
1株当たりの金額	3円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成24年11月1日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年10月5日

株式会社スリーエフ  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 三 富 康 史 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 澤 田 修 一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社スリーエフの平成24年3月1日から平成25年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成24年6月1日から平成24年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年3月1日から平成24年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社スリーエフ及び連結子会社の平成24年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。